

球磨ん のりムズ

地域と読者の架け橋

OKAHARU TARAGI YUNOMAE MIZUKAMI

編集・発行

熊日多良木販売センター

球磨郡多良木町大字多良木 356-1

TEL 42-3355 FAX 49-1726

http://www.taragi.com/

熊日湯前販売センター

球磨郡湯前町中里 1830 TEL 43-2151

(代)小出堅太郎 石田敏郎 尾前竜二

那須信一 編集：岩水由香

facebook 始めました。「熊日多良木・湯前販売センター」で検索してみてください。また当社のホームページもご覧下さい

いつも熊本日日新聞をご愛読いただきありがとうございます。

今年もいよいよあと1ヵ月あまりになりましたね。1年間があっという間に感じるのは年のせいでしょうか？(--;)これから忙しい時期になられると思いますので、くれぐれもお身体ご自愛ください。

色々な本や人との出会いを大切に



「秋の童話まつり（主催：熊日童話会球磨支部、支部長：那須律子さん）」が今月14日（土）に、多良木町多目的研修センターで開催されました。町内の各小学校の代表が1名ずつ童話を暗唱。会場を訪れた聴衆を童話の世界に引き込みました。その他童話会会員による口演童話や、腹話術、マジックショー、また黒肥地保育園児による合唱などがありました。同会の村山悦子副支部長は「お話を聞く事は、話し手と聴き手の目と目、アイコンタクト、顔と顔を見ながら、心の通い合うパスポートでもあります」と挨拶をされ、色々な本や人との出会いや関わりを通じて、様々な気持ちを育むことの大切さを訴えられました。

新聞記事感想コンクール表彰 入選作品紹介

東京の日本武道館で開かれた全国戦没者追悼式に、熊本県からも遺族らが参加し、不戦・平和の思いを新たにしました記事について感想文を書いた湯前中学校2年の岩本愛美さん。戦後70年ということもあり、テレビでも頻りに話題として取り上げられていたし、新聞記事を見つけて「これだ」と題材に選んだそうです。最初は単に宿題として取り組み、入選を果たしたことに驚いたそうですが「記事を読んで熊本でも多くの人が被害にあったことを知り、改めてもう戦争をして欲しくないと思うようになった」と、感想文を書くことを通じて、いまだ争い事が絶えない世界に命の大切さを訴えています。

湯前中学校2年
岩本愛美さん

今年で終戦から七十年。誰も得をしない戦争、人が人を傷つけ合う戦争。なぜ人の命を簡単に奪うようなことをするのでしょうか。私は、終戦から七十年となった今、この新聞記事を読み、改めて戦争について考えました。この記事には、堀人曼さんの父親について書いてありました。三十八歳という若さで、シベリアで亡くなり、仲間からの報告で父の死が分かったそうです。戦争に行ってもいかなかったら、亡くなっていないか、もしかしたら命を大切に扱ってほしいなあと感じました。また、最後には、「追悼行事は、孫やひ孫の代まで続けてほしい。」という堀人さんの思いが書かれていました。その思いを受け継いでいきたいです。そして、まだ他の国々では戦争がなくなっていない所があります。だから、その国の人達には、命の大切さと戦争をしても誰の得をしないということを理解してほしいです。



園児紹介

専立寺保育園

あさぎり町岡原南

ばら組 20名

担任 宮原明美先生



男の子が多くとても元気いっぱい
2月の発表会に向けてがんばっています。



COOL美図

COOL=かっこいい 美=beautiful

Vol.7



豊永花愛さん (25歳) 多良木町

- ★趣味 ヨガ
- ★特技 においを嗅ぎ分ける (笑)
- ★マイブームは？ 朝活
- ★自分の性格を一言でいうと？ マイペース
- ★今、頑張っている事は？ 韓国語の勉強
- ★好きな歌手は？ BIG BANG、チン・イハン (韓国俳優)
- ★休日は何をしていますか？ おいしい物探し、買い物
- ★今までで一番思い出に残っている事は？ 大学の卒業旅行
- ★これからの目標・夢は？ フルマラソン出場・奔走
- ★最後に一言どうぞ 多良木町の里の城大橋からの景色が大好きです (^_^)

次のページへどうぞ

幼児期からボランティアの大切さ学ぶ

専立寺保育園で今月20日に「熊本県第11回保育所ボランティア活動の日」として、保護者・園児が清掃活動を行いました。近年地球規模で大災害が頻発しており、各地でのボランティアの必要性が重要視されるようになりました。そこで平成17年に「第14回全国ボランティアフェスティバル火の国くまもと」が開催されました。この大会を機に、県内認可保育所(園)のこどもたちが一斉にボランティア活動を行い、幼児期からボランティアの大切さを学び、地域に貢献することの重要性を認識してもらおうと、この活動が行われるようになりました。毎年恒例となったこの行事に、年長児とその保護者が仕事を休んで参加し、親子でゴミを拾い分別していました。





国指定重要文化財「生善院観音」
相良三十三観音 二十四番札所

猫寺騒動の後、普門寺は湯前に移されたが、怨霊の祟りがおさまらないために、消失した普門寺跡に「生善院」を建立。本尊の千手観音は、相良藩を恨んで亡くなった玖月善女の影仏として京都の仏師によって彫られました。



猫寺伝説 生善院 (通称 猫寺)

天正十年(1582)相良藩への謀反を企てているという嘘の訴えにより、湯山佐渡守宗昌とその弟で普門寺の盛誉法印が殺されることになった。その話を聞いた宗昌は日向へ逃げたが、寺に残った法印は殺され、寺も焼かれてしまう。

無実でありながらわが子を殺された法印の母、玖月善女は愛猫玉垂を連れて市房神社に参籠し、自分の指をかみ切ってその血を神像に塗り付け、玉垂にもなめさせて、末代までも怨霊になって相良藩にたたるように言いふくめ、茂間が崎というところに身を投げて死んでしまう。すると相良藩では、猫の怨霊が美女や夜叉に化けて藩主の枕許に立つなど、奇々怪々なことが次々に起きた。

藩では霊を鎮めるために普門寺跡に千光山生善院と名づけて寺を建立。現在の本堂も観音堂も、その時に建てられたものです。法印の命日である3月16日に、藩民に市房神社と生善院に参詣するように命じ、藩主自身もそうでしたので、怨霊のたたりは鎮まったと伝えられています。

巨大、松茸を収穫!!



あさぎり町のAさんが、11月15日に傘幅17cm、長さ20cm、重さ230グラムの松茸を取ってこられました。Aさんが取られた中では2番目の大きさだったそうですが、取った所の松が枯れかかっていたらしく「今年が最後になるかもしれない。毎年お神酒を挙げ、マナーを守って取ってきたので、山の神さんが最後に授けて下さったのでは」とAさん。取られた松茸は毎年楽しみにしている同級生に、土瓶蒸しにしてご馳走されるそうです。



新聞記事を楽しむ!

進路学習「チャレンジジョブ!」



中学部では、11月の約一ヶ月間、将来の仕事や生活のことについて考える進路学習に取り組みました。地域の事業所の協力を得ながら職場見学や校内での仕事体験、3年生は職場体験なども行いました。

職場見学では、自動車部品の組み立てや衣類販売の仕事などを見学しました。職場の方がてきぱきと働く姿や私語をせず真剣に働く姿を見たり、勤務時間や仕事をする上で気をつけていることなどについて質問したりして、「働く姿勢」、職場のルールやマナー等について学ぶことができました。

仕事体験では、商品のタグの紐通しと電灯の部品の組み立ての2種類の仕事に取り組みました。校内に設けた仕事場への入退室時には「失礼します」とあいさつをし、静かに黙々と仕事をすることもできました。仕事「楽しい」と発言する生徒もあり、将来の仕事について少しずつ興味も高まってきています。



(原稿提供：球磨支援学校)

～チビとカラス～

10月の初め、8月の台風で横に倒れた樹齢100年の柿木に「カア」とカラスが止まり、熟れはじめた柿に狙いをさだめている下から、我が家の一番末の猫、チビが威嚇しながら「ニャオ」と声を発した。「食べていい」、「うちのだから駄目」とでも言い合っているようだった。のどかな秋日和を感じた。10月4日の熊日新聞「くまにち論壇」農村守の共同行動は文化資産」の記事で、「春先に行われる農業用水路の泥上げなど、従来型の協同作業が無条件で合理的とはいえない状況が生まれている。村外出身の若者が農業に取り組むケースや、年齢差など集落の決まりごととして理屈抜きで動員するスタイルに疑問符がつく事態を考えられる。決まりごとの共同行動から、納得ずくで参加する共同行動への転換の期待がかかる。それが風通しの良いコミュニティにつながり、外部からの人材導入にも結びつく」と紹介されていた。読書から既読へ変わり、浅い会話が増え、楽しく話し合える会話の大切さを感じていた時の記事で、心に響いた。10月2日・3日と木綿葉フェスタが開かれ、ステージ演出を担当された、多良木町の松下産業社長が「今、私にある技術と機器で、後輩のみんなに最高の音響、照明でステージ発表、舞花さんのライブを聴いて欲しい。また、機器の設置や配線、照明機材など見せて感じさせる工夫をしている。最近、イベント会場で音量が大きい、小さいと申出があり、音や照明との会話を持って欲しいと思う事がある」と話された。音や照明との会話が心に沁み、カラスとチビに学ばなくては。(原稿提供：多良木高等学校 川北禎一先生)

多良木警察署だより

野菜を盗むことは重大な犯罪です

現在、無人販売所における窃盗事件が多発しております!野菜を1袋でも盗めば、窃盗犯人として処罰されます
窃盗…10年以下の懲役又は50万円以下の罰金
● 野菜盗 大きな犯罪 窃盗罪

みんなで作ろう 安全・安心な球磨地域

(原稿提供：多良木警察署)

暖談なあ

◆今年も残り少なくなりました。来月と2回に分けて球磨のニュースをいるはかるたで振り返ります。まだすばらしい話題が出る可能性もありますが、とりあえず今月上旬までの記事から。

◆い犬とのふれあい勉強、3月6月の雨平年の2倍、はハパンバグをシシ肉で、に認知症の対応訓練、ほほほうるくきゅう祈禱、へへりの座席に座ったよ、と登校班で新聞作り◆ち超凡破格の教育者」の碑、りりサイクルセリネサスの結論は来夏、を温泉施設でレジオネラ◆わワイナイナさんと走ったよ、か漢方内科の外來診療、よよみがえれ遠山桜、た竹とんぼ牛乳パックで、れレッツプレー球磨拳、そ卒業証書は手づくりの和紙◆つ通年議會制を導入、ね願いのむなくし廃校決定、な南幌町で野球交流、らランチはイチゴづくし、む胸いっぱい」と福島からお礼状(X)